

# 安全データシート (SDS)

## 1. 科学品及び会社情報

製品名 水アカ除去液  
会社名 株式会社エヌエム  
住所 福井県福井市和田 2 丁目 2013 番地  
電話番号 0776-24-3428  
FAX 番号 0776-24-3150  
作成日 2006 年 5 月 18 日  
改正日 2017 年 3 月 3 日  
整理番号 I-02011  
改正番号

## 2. 危険有害性の要約

重要危険有害性および影響 : 特に記載すべき危険有害性はない

### GHS 分類

健康に対する有害性 : 皮膚腐食性/刺激性 区分 1 H314  
: 眼に対する重篤な損傷/眼刺激 区分 1 H318

※ 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷 H314

### 注意書き

- P280 保護手袋、保護衣および保護眼鏡または保護面を着用すること。
- P284 取扱い後はよく洗うこと。
- P260 粉塵またはミストを吸入しないこと。

P303+361+353 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて取り去ること。皮膚を流水で洗うこと。

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

P305+351+338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P310 直ちに医師に連絡する。

P301+330+331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P304+340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P310 直ちに医師に連絡すること。

P405 施錠して保管すること。

P501 内容物や容器を（関係法律または条例の規定に従って）廃棄すること。

#### [安全対策]

：保護手袋を着用する。保護眼鏡/保護面を着用する。  
取り扱い後は手をよく洗う。環境への放出を避ける。

#### [応急措置]

：皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗う。  
：皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする。  
：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。  
：眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受ける。

#### [保管]

：該当しない

#### [廃棄]

：内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理者に委託する。

### 3. 組成および成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物

一般名 : 水アカ除去液

成分	含有量 (%)	CAS No	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
メタケイ酸ウム9水和物	2.0	13517-24-3	(1)-508
アニオン系界面活性剤	非公開	非公開	非公開
キレート剤	非公開	非公開	非公開
アルコール系溶剤	非公開	非公開	非公開
水	残量	7732-18-5	-

#### 4. 応急措置

吸入した場合：

使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にする。

皮膚に付着した場合：

多量の水と石鹼で洗浄する。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

目に入った場合：

直ちに清浄な水で十分に洗浄する。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続ける

皮膚に付着した場合：

多量の水で洗浄する。

飲み込んだ場合：

水で口の中をよく漱ぎ、無理に吐かせないでコップ1-2杯の水または牛乳を飲ませるなどの処置をする。

いずれの場合も異常があるときは医師の手当てを受ける。

#### 5. 火災時の措置

不燃物にて該当無し。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

保護具および緊急時措置

環境に対する注意事項：

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法：

少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、  
残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。  
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。  
漏出したものをすくいとり、容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 取扱いの都度、容器を密閉する。  
眼、皮膚、衣類に付けない。  
ゴム手袋及び保護眼鏡を着用する。  
取扱い後はよく手を洗う。

注意事項 : 容器が破損しないように注意する。

安全取扱い注意事項 : 容器の乱暴な取扱いは避ける事。

保管

適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気のよい場所で容器を密閉し保管する。

酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。

安全な容器包装材料 : 開栓した容器で再び保管する時は、密栓をよく確かめる。他の容器に移し替えて保管しないこと。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度 : 設定なし

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定なし

ACGIH : 設定なし

保護具

呼吸器の保護具 : 特に必要としない

手の保護具	: ゴム製保護手袋を使用する。
眼の保護具	: 保護眼鏡（側板付き又はゴーグル型）を使用する。
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣を使用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	: 無色透明液体
臭い	: 原料臭
pH（原液・25℃）	: 12.8（代表値）
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: データなし
引火点	: 引火性なし
自然発火温度	: データなし
燃焼性	: データなし
燃焼又は爆発範囲	
下限、上限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
比重（25℃）	: 1.04（代表値）
溶解性	: 水に易溶。
分解温度	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	: 情報無し。
混触危険物質	: ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
危険有害な分解生成物	: 情報無し。

## 11. 有害性情報

急性毒性	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分1
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 区分1

呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 情報無し
生殖細胞変異原性	: 情報無し
発がん性	: 情報無し
生殖毒性	: 情報無し
特定標的臓器／全身毒性－単回曝露	: 情報無し
特定標的臓器／全身毒性－反復曝露	: 情報無し
吸引性呼吸器有害性	: 情報無し

#### 1 2. 環境影響情報

生態毒性	: 水生環境有害性（急性）区分 3
残留性／分解性	: 情報無し
生態蓄積性	: 情報無し
土壌中の蓄積性	: 情報無し
他の有害影響	: 情報無し

#### 1 3. 廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

#### 1 4. 輸送上の注意

##### 国際規制

国連分類	: 国連勧告の定義上の危険物に該当しない。
国連番号	: 該当しない

##### 国内規制

陸上輸送	: 消防法・労働安全衛生法・毒劇物取締法に該当する場合は、それぞれ定められた輸送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められた輸送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。  
 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

直射日光・高温多湿を避ける。

## 15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (平成 21 年 10 月 1 日改正)	: 非該当
労働安全衛生法	
危険物	: 非該当
有機溶剤中毒予防規則	: 非該当
表示対象物質	: 非該当
第 57 条の 2 第 1 項 通知対象物	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非該当

## 16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。